

学校向け『スタディサプリ』が Microsoft 365 と連携 Microsoft アカウントでのログインが可能に

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘、以下リクルート）が提供するオンライン学習サービス『スタディサプリ』は、学校の先生向けサービスにおいて、Microsoft 365 との連携を開始しました。これにより、Microsoft 365 などのマイクロソフトのクラウドサービスを導入している学校において『スタディサプリ』へ Microsoft 365 のアカウントでのログインが可能となります。

■ 機能連携の目的と概要

これまでリクルートは、学校向けに提供している教職員向けの機能『スタディサプリ for TEACHERS』を通し、学習を児童・生徒頼りにするのではなく、宿題配信や進捗管理、先生からの学習の伴走・サポート、よりよい指導の実現を目指しサービスを提供してきました。高校を中心に導入が進み、全国約 5,000 校のうち 2,998 校で導入いただいています。

この度、『スタディサプリ for TEACHERS』は Microsoft 365 のアカウントと ID 連携が可能となりました。これにより、Microsoft 365 などのマイクロソフトのクラウドサービスを使用している学校において『スタディサプリ for TEACHERS』へ Microsoft 365 のアカウントでのログインが可能となります。

『スタディサプリ for TEACHERS』は、2020 年 11 月に Google が提供する Google Workspace for Education とも連携をしており、今回の Microsoft 365 との連携によって、学校現場でご利用いただいている先生の ID 管理の手間が省け、利便性がさらに向上いたします。



本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

■ 日本マイクロソフト株式会社 業務執行役員 パブリックセクター事業本部 文教営業統括本部長
中井陽子氏 コメント

この度、高校を中心に非常に多くの学校現場で活用が進んでいるリクルート様の『スタディサプリ』が Microsoft 365 との連携を開始したことを大変うれしく思っています。ICT 活用に向けた一人1台の端末整備が進む中で、校務・教務においてさまざまなサービスを使い分ける際のアカウント管理は課題の一つになっておりました。今回の連携によりアカウント管理の負担も減り、教職員、児童生徒の利便性がさらに向上すると考えています。今後も『スタディサプリ』との連携を通じて、日本中の様々な自治体・学校での ICT を活用した効果的な学びと教育変革の実現を支援してまいります。

■ 株式会社リクルート 執行役員 山口文洋 コメント

日本の教育現場の先生方には、これからの時代に必要な自立した学習者を育てる力を持っていらっしゃるにもかかわらず、時間的・環境的制約によってその力を最大限に生かすことができていない現状に課題を感じてきました。『スタディサプリ』という ICT を活用して効率的に学習を進めることで、先生方には生徒の士気を上げたり、非認知能力を高めたりすることをコーディネートする役割に専念していただけるよう、リクルートとして貢献していきたいと思っています。さらに多くの学校現場での利便性向上につながればという思いから Microsoft 365 との連携を始めます。今後も、学校現場でのご意見を反映し機能向上に努めてまいります。

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人一人のライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、メディア&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、4万6,000人以上の従業員とともに、60を超える国・地域で事業を展開しています。2020年度の売上収益は2兆2,693億円、海外売上比率は約45%になります。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人一人が輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.co.jp/>

リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>